



「令和6年 デイクルージング指示書」

- [主催] ラグナマリーナヨットクラブ クルージング委員会
[協力] (株)ラグナマリーナ
[開催日] 令和6年6月2日(日曜日)
[開催地] 三河湾内 マリーナ⇄東幡豆漁港

1. 適用規則と規定

- 1-1 衝突、座礁、落水者等の事故の無い様、艇長は細心の準備・注意の事。
1-2 港内徐行、出船優先等のルールとマナーを厳守し他に不快な思いを与えない事。
1-3 クルージング中は衝突予防法を適用します。
1-4 ライフジャケットは必ず全員着用し安全を確保しながらお楽しみください。

2. 責任の所在

- 2-1 全ての艇、参加者は自分自身の責任でこのクルージングに参加します。
主催委員会はクルージング中に生じた物理的損害、身体障害の責任を負いません。
2-2 クルージングに参加するか、続けるかの決定責任はその艇のみにあります。

3. スケジュール

- 3-1 艇長会議：8時～マリーナプライベートガーデン前に艇長は集合。

3-2 スタート：艇長会議終了後、各艇自由に出港してください。

3-3 昼食：12時～14時 カフェ・メールブリヤン2F(会場は時間内貸し切り)
☆カフェまたは係留場所(漁港)で記念撮影をします。

3-4 係留場所：東幡豆漁港の指定場所(添付図2のA棧橋およびB棧橋)

3-5 係留時間：10:30～15:00
☆係留に関し、場合により横抱き係留をお願いする場合があります。

4. 海域・コース

4-1 往路

マリーナ⇒ 豊橋港沖の1号自動観測ブイ（北緯 34 度 44 分 36 秒、東経 137 度 13 分 13 秒）を時計周り（豊橋航路は入らない）⇒西浦半島沖⇒沖島を時計周り ⇒前島を右手に見て航行⇒東幡豆漁港着（係留）⇒昼食場所：カフェ・メールブリヤン/係留場所より徒歩 1 分 （添付図 1 参照）

4-2 復路

前島、沖島、西浦半島、仏島、小島、大島を左に見てマリーナへ戻ります。

4-3 距離：片道≒12 マイル

5. クルージング方法について

5-1 帆走、機帆走、機走で各艇自由。艇長に一任です。

但し集合時間（11 時～11 時 30 分）および帰港時間（17 時）にも間に合うように航行願います。 帰港後、帰着報告をマリーナフロントまで願います。

6. コース短縮

6-1 コース短縮はありません。

7. 安全規定

7-1 途中リタイアする艇はクルージング委員・柴田まで携帯電話にて連絡願います。

7-2 艇長は救命具又はライフジャケットを搭乗者全員に着用するよう願います。

7-3 往路の豊橋港への本線航路の通行は避け、復路からの蒲郡港への本船航路内の横断はすみやかに通行してください。

8. クルージングの中止と対応について

8-1 風速 10m/S 以上が継続している⇒中止

8-2 寒冷前線・雷雲の接近が予測される⇒中止

8-3 小雨および降ったり止んだり⇒実施

8-4 大雨が連続で降ることが予想される場合⇒中止

8-5 中止の場合はクルージング委員長より各艇の代表者へ前日に連絡します。

9. 中止の場合の対応

9-1 昼食場所のカフェ・メールブリヤンで昼食、記念撮影およびビンゴゲーム大会を予定しますので、車等で 11 時 30 分を目途に集合願います。

☆昼食費は昼食場所の予約都合で返金できませんので必ず参加ください。

10. 補足

- 10-1 コースは添付図1に表します。
- 10-2 東幡豆港の係留場所は添付図2のA棧橋とB棧橋のマーキング位置によります。各艇スムーズな係留ができるようにご協力願います。
- 10-3 コース上にはマリーナの監視艇を配し、クルージング委員も搭乗します。
- 10-4 参加艇はバックステイ、フラグポール、またはシュラウド（右舷）にクラブバージをデッキより1m以上に掲揚してください。

11. 緊急連絡先

- ☆ラグナマリーナ本部 : 0533-58-2950
: VHF 無線 69 チャンネル
- ☆ラグナマリーナ本部事務局（監視艇岩永携帯） : 080-2666-4326
- ☆クラブ事務局 PASTORAL 柴田携帯 : 090-4087-2221
- ☆三河海上保安署 : 0532-34-0118

LMYCクルージング委員：PASTORAL柴田(記)

以上